

ベヨネース列岩の火山活動解説資料（令和8年9月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

ベヨネース列岩（明神礁）付近では、2023年1月に海上保安庁が実施した上空からの観測で変色水が確認されたことから、噴火警報（周辺海域）を発表しました。その後の観測では、2023年2月を最後に、変色水、浮遊物等の特異事象は確認されていません。

このことから、ベヨネース列岩の周辺海域に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、10月8日11時00分（期間外）に噴火警報（周辺海域）を解除し、噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。併せて、火山現象に関する海上警報を解除しました。

噴火の兆候はありませんが、引き続き活火山であることに留意してください。

○ 活動概況（図1）

気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。17日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、ベヨネース列岩（図3）で、変色水等の特異事象は認められませんでした。

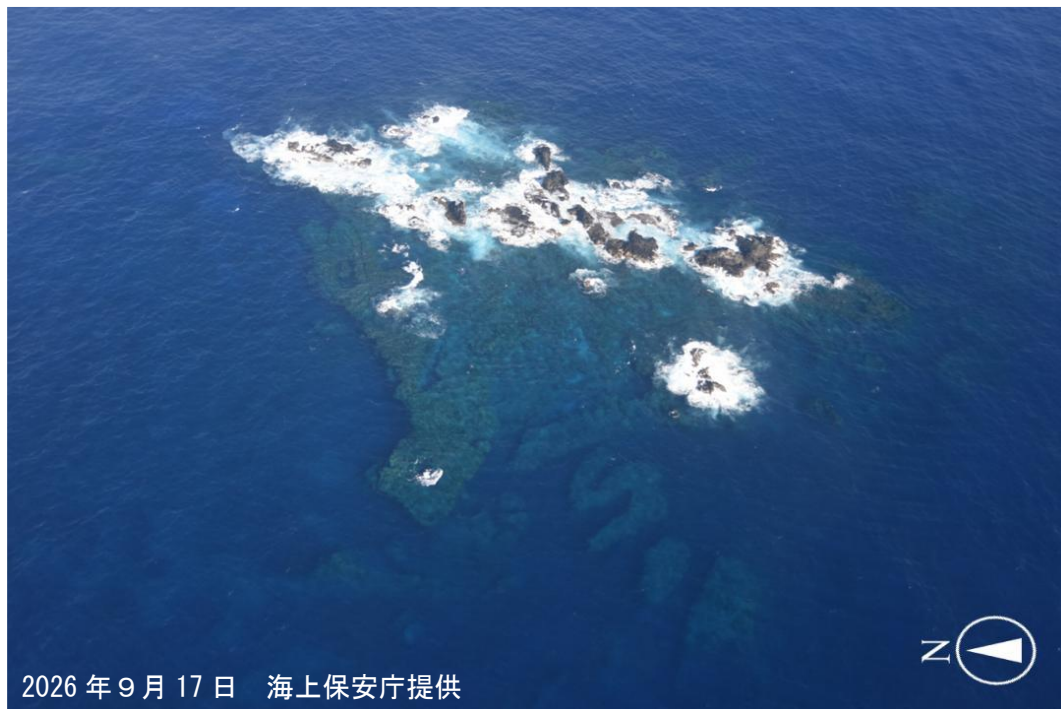


図1 ベヨネース列岩 17日の状況

- ・17日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、ベヨネース列岩で、変色水等の特異事象は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

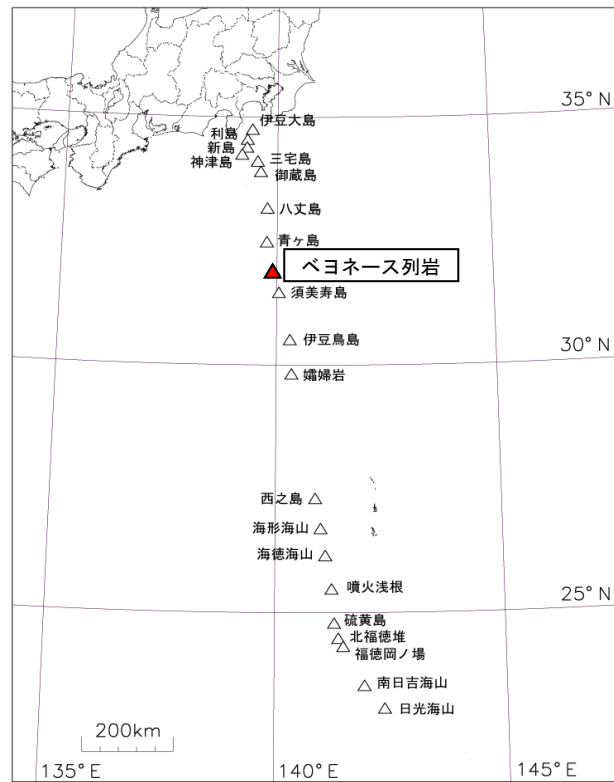


図2 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及びベヨネース列岩の位置図
ベヨネース列岩は、青ヶ島の南南東約 65km に位置します。

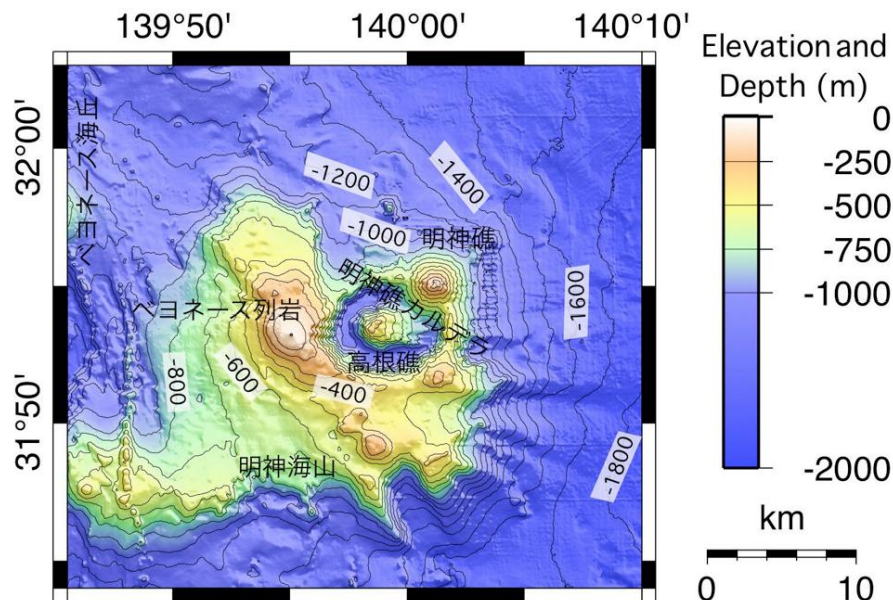


図3 ベヨネース列岩付近の海底地形図

この地域の活火山名は、ベヨネース列岩、明神礁、高根礁などを含む火山地形を総称して「ベヨネース列岩」と呼んでいます。

明神礁の最浅部は水深 50m、北緯 31 度 55.1 分、東経 140 度 01.3 分です。

(日本周辺海域火山通覧 (第4版) (海上保安庁, 2012) より)

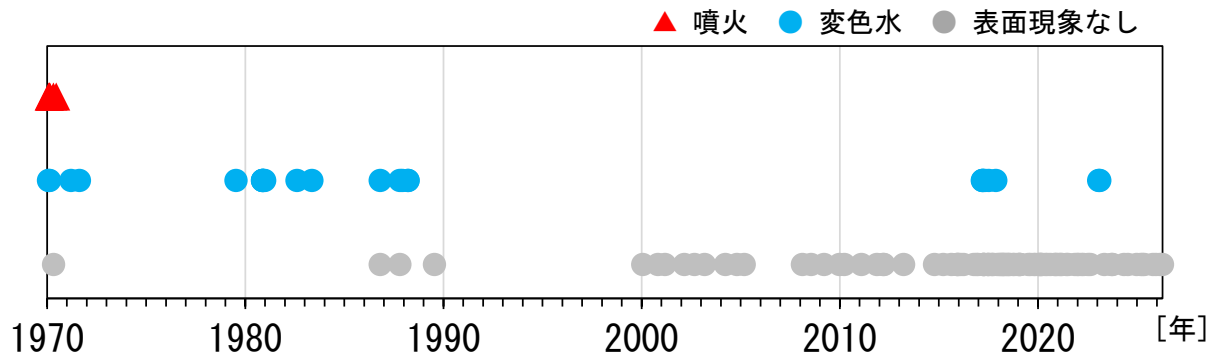


図4 ベヨネース列岩 1970年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲、●はそれぞれ噴火及び変色水が認められた観測を示します。●は変色水等が認められなかった観測を示します。

海上保安庁、海上自衛隊及び漁船等からの情報による。